

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	救助訓練(大会訓練)において障害突破訓練中、ロープ渡過実施時に左肩を脱臼した事例
3. 体験した事例の中心的要素	負傷した隊員は以前にも障害突破訓練中に左肩を軽度の脱臼をしており、通院・リハビリの後、完治したと診断される。 その後は、痛みもなく筋力トレーニング等も行っており本人の「大丈夫」との言葉を受け、上司は負傷部位について配慮しつつ訓練を行わせたが、障害突破訓練中、ロープ渡過実施時にバランスを崩し左肩を脱臼したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	再発の可能性を認識せずに訓練を実施した事により負傷(再発)した。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年5月20日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：訓練施設
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:脱臼
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(大会に向けた)]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：障害突破(大会)訓練中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[21]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が [※] (何が [※])	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	準備体操開始 ランニング・ストレッチ	
経過2	当事者A	障害突破訓練開始	
経過3	当事者A	渡過ロープを渡過し、搭上した際にバランスを崩し左肩に負荷が [※] かかり脱臼、負傷した	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。危険情報を把握、予見できなかった。危険事象の対応方法を知らなかった。集中力、注意力がなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

緊張をほぐす為、実施前には隊員同士で声を掛け合い訓練に臨む。(部隊)
各種訓練開始前には十分な準備運動、ストレッチを行う時間を設ける。(部隊)

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

今回の事故に限らず、隊員が体調不良等を申告しやすい職場環境を構築するとともに、隊員の体調を常に観察し、異変があれば時期を失うことなく、訓練を中止又は延期する措置を講ずるなどの安全管理意識を高めるようにした。(部隊)

○指揮・情報伝達の対策について

上司となる者は隊員の過去の負傷歴を把握するとともに、注意と配慮を心がけるよう示達した。(部隊)

